平成２０年度「グローバルＣＯＥプログラム」
計画調書（案）

平成２０年度

グローバルＣＯＥプログラム　拠点形成計画の概要

機 関 名		機関番号		整理番号	
１．申 請 者 （ 学 長 ）	(ふりがな<ローマ字>) （氏　名）				
２．申請分野 (該当するものに○印)	Ｆ<医学系>　Ｇ<数学、物理学、地球科学>　Ｈ<機械、土木、建築、その他工学>　Ｉ<社会科学>　Ｊ<学際、複合、新領域>				
３．拠点のプログラム名称 （英訳名）					
研究分野及びキーワード	<研究分野：　　>(　　)(　　)(　　)(　　)(　　)				
４．専攻等名					
21COE拠点名 (21COEに採択されている場合)	拠点番号 (　　)				
５．連携先機関名 (他の大学等と連携した取組の場合)					

６．事業推進担当者　　計　　名

※他の大学等と連携した取組の場合：拠点となる大学に所属する事業推進担当者の割合［　　%］

ふりがな<ローマ字> 氏　　名(年齢)	所属部局(専攻等)・職名	現在の専門 学　位	役割分担(初年度の拠点形成計画における分担事項)
(拠点リーダー)			

７．申請経費（単位：千円）千円未満は切り捨てる

※連携した取組の場合、（ ）内に連携先で使用する金額、< >内に申請金額全体に占める割合(%)をそれぞれ記載してください。

年度（平成）	２０	２１	２２	２３	２４	合　計
申請金額（千円） （千円） （%）	(　　) <　　%>	(　　) <　　%>	(　　) <　　%>	(　　) <　　%>	(　　) <　　%>	(　　) <　　%>

機　　関　　名	
拠点のプログラム名称	
中核となる専攻等名	
事業推進担当者	（拠点リーダー）　　外　　名

［拠点形成の目的］

［拠点形成計画の概要］

平成２０年度

グローバルＣＯＥプログラム　将来構想等調書

１．大学の将来構想

① これまで大学が取り組んできた教育研究にも触れながら、大学全体の将来構想を具体的に記入した上で、今回の申請拠点に関連する将来構想を記入してください。（平成１９年度採択拠点及び現行「２１世紀ＣＯＥプログラム」で平成２０年度以降継続して支援される拠点がある場合はそれらの拠点と大学の将来構想との関連も含めて記入してください。）

② ２１世紀ＣＯＥプログラムに採択されている~~た~~拠点がある場合は、採択時の大学の将来構想と関連させて、これまで大学が取り組んできた拠点形成活動全体について記入してください。

様式１

２．将来構想の概念図

（前項において述べた構想について、大学の将来構想と拠点形成支援の方向性及び学長を中心としたマネジメント体制の作用の観点からイメージ図を描いてください。なお、他の大学等と連携した拠点形成については、それらも含めて記入してください。）

３．申請拠点一覧

申請拠点総数（　　）拠点…拠点数内訳　Ｆ（　），Ｇ（　），Ｈ（　），Ｉ（　），Ｊ（　）

（国際的に卓越した教育研究拠点形成を目指している組織（大学院博士課程の専攻等）が行う拠点形成計画を申請分野ごとに整理番号を付して記入してください。）

注１：専攻等名欄記入に当たって、平成１４年度～平成１６年度に２１世紀ＣＯＥプログラムに採択されている~~た~~専攻についてはその旨明記してください。

注２：申請金額欄の（　）内には連携した取組の場合に、連携先で使用する金額を記入してください。

申請分野（該当に○印）…〈Ｆ 医学系〉〈Ｇ 数学、物理学、地球科学〉〈Ｈ 機械、土木、建築、その他工学〉〈Ｉ 社会科学〉〈Ｊ 学際、複合、新領域〉　（整理番号）（１）

（拠点のプログラム名称〈英訳名〉）

（研究分野及び拠点形成計画の内容を体現するキーワードを５つ）

研究分野（　　）、キーワード（　　）（　　）（　　）（　　）（　　）

（専攻等名）

（連携先機関名）

（拠点リーダー）

年　度（平成）	２０	２１	２２	２３	２４	合　計
申請金額（千円）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）

申請分野（該当に○印）…〈Ｆ 医学系〉〈Ｇ 数学、物理学、地球科学〉〈Ｈ 機械、土木、建築、その他工学〉〈Ｉ 社会科学〉〈Ｊ 学際、複合、新領域〉　（整理番号）（　）

（拠点のプログラム名称〈英訳名〉）

（研究分野及び拠点形成計画の内容を体現するキーワードを５つ）

研究分野（　　）、キーワード（　　）（　　）（　　）（　　）（　　）

（専攻等名）

（連携先機関名）

（拠点リーダー）

年　度（平成）	２０	２１	２２	２３	２４	合　計
申請金額（千円）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）

申請分野（該当に○印）…〈Ｆ 医学系〉〈Ｇ 数学、物理学、地球科学〉〈Ｈ 機械、土木、建築、その他工学〉〈Ｉ 社会科学〉〈Ｊ 学際、複合、新領域〉　（整理番号）（　）

（拠点のプログラム名称〈英訳名〉）

（研究分野及び拠点形成計画の内容を体現するキーワードを５つ）

研究分野（　　）、キーワード（　　）（　　）（　　）（　　）（　　）

（専攻等名）

（連携先機関名）

（拠点リーダー）

年　度（平成）	２０	２１	２２	２３	２４	合　計
申請金額（千円）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）

様式１

申請分野（該当に○印）…〈医学系〉〈数学、物理学、地球科学〉〈機械、土木、建築、その他工学〉〈社会科学〉〈学際、複合、新領域〉						(整理番号)（　）
（拠点のプログラム名称〈英訳名〉） （研究分野及び拠点形成計画の内容を体現するキーワードを５つ） 研究分野（　　）、キーワード（　　）（　　）（　　）（　　）（　　） （専攻等名） （連携先機関名） （拠点リーダー）						
年　　度（平成）	２０	２１	２２	２３	２４	合　　計
申請金額（千円）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）

申請分野（該当に○印）…〈医学系〉〈数学、物理学、地球科学〉〈機械、土木、建築、その他工学〉〈社会科学〉〈学際、複合、新領域〉						(整理番号)（　）
（拠点のプログラム名称〈英訳名〉） （研究分野及び拠点形成計画の内容を体現するキーワードを５つ） 研究分野（　　）、キーワード（　　）（　　）（　　）（　　）（　　） （専攻等名） （連携先機関名） （拠点リーダー）						
年　　度（平成）	２０	２１	２２	２３	２４	合　　計
申請金額（千円）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）

申請分野（該当に○印）…〈医学系〉〈数学、物理学、地球科学〉〈機械、土木、建築、その他工学〉〈社会科学〉〈学際、複合、新領域〉						(整理番号)（　）
（拠点のプログラム名称〈英訳名〉） （研究分野及び拠点形成計画の内容を体現するキーワードを５つ） 研究分野（　　）、キーワード（　　）（　　）（　　）（　　）（　　） （専攻等名） （連携先機関名） （拠点リーダー）						
年　　度（平成）	２０	２１	２２	２３	２４	合　　計
申請金額（千円）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）

４．学長を中心としたマネジメント体制と当該拠点に対する組織的支援
（学長を中心としたマネジメント体制の下、国際的に卓越した教育研究拠点の形成を目指し、どのように拠点形成を実現（支援）するのか（例：学内予算措置、教育研究組織の改編、施設・スペースの整備、研究者・教員及び教育研究支援者の措置等）、また、学長を中心としたマネジメント体制が具体的にどのような役割を発揮していくかについて記入してください。）

５．事業の継続性
（当該拠点の事業終了後、国際的に卓越した教育研究拠点として継続的な教育研究活動を、大学としてどのように自主的・恒常的に実施するのかについて記入してください。他の大学等と連携した拠点形成については、事業終了後の連携の在り方等についても記入してください。）

グローバルＣＯＥプログラム　拠点形成計画調書

１．拠点のこれまでの教育研究活動
（本拠点におけるこれまでの教育研究活動（人材育成の現状と実績、研究水準の現状と実績、国内外との比較）について記入してください。２１世紀ＣＯＥプログラムに採択されている専攻等を含む場合は、その教育研究活動の状況を含めて記入してください。）

２．拠点形成の目的、必要性・重要性、期待される効果
①-1 本拠点がカバーする学問分野を具体的かつ明確・簡潔に記入してください。また、「学際、複合、新領域」分野への申請の場合は、本申請のどういった点が「学際、複合、新領域」分野に該当すると判断したのかについて明記してください。

①-2 世界最高水準の優れた研究基盤や特色ある学問分野の開拓を通じた独創的、画期的な研究基盤を前提に、拠点としてどのような人材育成や研究活動を行うのか、それによりどのような拠点を形成するのかなどの拠点形成計画の構想・目的（特に拠点の目指す方向性等）・必要性について明確に記入してください。

①-3 他の大学等と連携した取組については、その必要性について記入してください。

①-4　本拠点が我が国のＣＯＥとしてどのような重要性・発展性があるのか、いかに優れたもの、または、ユニークであるかについて、国際的な水準から見た現状等（国内外の国際的な拠点との比較等）を具体的かつ明確に記入してください。国際的な水準から見た現状等については、本プログラムが、国際的に卓越した教育研究拠点の形成を目指すものであることを踏まえ、分野の特性などに応じ、可能な限り国内外の国際的な拠点の例も挙げ、比較しつつ記入してください。

② 本プログラムで行う事業が終了した５年後に期待される教育研究の成果及び拠点により見込まれる学術的または社会的な意義・波及効果等について記入してください。

３．拠点の運営体制
（拠点として機能するための運営マネジメント体制について、以下の①、②の点を具体的に記入してください。）
① 拠点リーダーを中心とした事業推進担当者の教育研究活動の連携体制（他の大学等と連携した取組については、その実施体制を含む）

② 教育研究活動の状況を組織的に把握・改善する仕組み、自己点検・評価体制（外部者による評価も含む）の整備

４．拠点の運営体制の概念図
（３．拠点の運営体制で述べた実施体制を示すイメージ図を添付してください。）

５．人材育成の計画

① 人材育成の具体的な達成目標について記入してください。

（学生に対する教育については、専攻等の人材養成目的を踏まえ、達成目標について記入してください。）

② ①の人材を育成するための具体的な教育計画について記入してください。

・人材育成のために必要な指導体制（研究指導体制、キャリアパス形成に対する支援体制など）、教育プログラム等
・博士課程学生に対する経済的支援や、若手研究者に自立して活躍できる機会を与えるなど、若手研究者がその能力を十分に発揮できるような取組
・国内外から優秀な学生を集めるための方策（このための情報提供を含む）や、学生の流動性を向上させるための方策、国内外の優れた教員の雇用・招聘や留学生を含む若手研究者の派遣・受入れ、海外の大学等と協力した人材育成プログラムの実施など、国際的に活躍できる人材を育成するための工夫

など

③ 博士課程学生を含めた若手研究者の育成・支援の実績について記入してください。（特に、２１世紀ＣＯＥプログラムにおいて採択されている拠点については、２１世紀ＣＯＥプログラムで期待された成果が得られているかを含めて記入してください。）

④ 他の大学等と連携した取組については、人材育成における連携の有効性について記入してください。

６．研究活動の計画

① 研究活動の具体的な達成目標について記入してください。

② ①を実現するための具体的な計画について記入してください。

（ⅰ．国際的なネットワークの構築、国内外の優れた研究者の雇用・招聘や若手研究者の派遣・受入れ、海外の研究機関等との連携、諸外国への積極的な情報発信など、国際的な拠点形成をどのように実現するのか、ⅱ．拠点形成計画に参画する研究者が実質的に協力・連携し、拠点形成に向けて十分貢献する体制となっているのかを含めて、記入してください。）

③ 国際的に卓越した教育研究拠点の形成に当たって、必要な研究活動の実績について記入してください。（特に、２１世紀ＣＯＥプログラムにおいて採択されている拠点については、２１世紀ＣＯＥプログラムで期待された成果が得られているかを含めて記入してください。）

④ 他の大学等と連携した取組については、研究における連携の有効性について記入してください。

⑤ 年度別の具体的な研究活動面の実施計画

平成２０年度：

平成２１年度：

平成２２年度：

平成２３年度：

平成２４年度：

７．他の関連する事業との相違点
（当該プログラムを申請する専攻等において他の経費措置で既に実施されている関連性の高い事業による内容と類似性がある場合には、その相違について具体的に記入してください。）

様式２－４

8.　21世紀COEプログラムにおける中間評価結果（事後評価結果）におけるコメント及び対応状況等について

拠 点 番 号		プログラム名称	
拠点リーダー名		専　攻　等　名	

① 中間評価結果における総括評価及びコメント、特記事項について転記してください。
（平成１９年度に事後評価が実施されたプログラムについては、事後評価結果における総括評価及びコメントを転記してください。）

・中間評価結果における総括評価（該当する総括評価の区分にチェックしてください。）

□ 当初計画は順調に実施に移され、現行の努力を継続することによって目的達成が可能と判断される
□ 当初目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要と判断される
□ このままでは当初目的を達成することは難しいと思われるので、助言等に留意し、当初計画の適切なる変更が必要と判断される
□ 現在までの進捗状況等に鑑み、今後の努力を待っても当初目的の達成は困難と思われるので、拠点形成を継続するためには、助言等に沿って、当初目的を絞り込んだ上で当初計画を大幅に縮小することが必要と判断される
□ 現在までの進捗状況等に鑑み、今後の努力を待っても当初目的の達成は困難と思われるので、拠点形成を中止することが必要と判断される

・事後評価結果における総括評価（該当する総括評価の区分にチェックしてください。）

□ 設定された目的は十分達成され、期待以上の成果があった
□ 設定された目的は概ね達成され、期待どおりの成果があった
□ 設定された目的はある程度達成された
□ 設定された目的は十分には達成されなかった

［コメント］

［特記事項］

② 中間評価結果におけるコメント及び特記事項への対応とその結果について記入してください。
（平成１９年度に事後評価が実施されたプログラムについては、事後評価結果におけるコメントへの現時点での措置等を記入してください。）

（機関名：　　拠点のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名称：　　）

9.　前回申請したプログラムの改善・充実点について
（平成19年度グローバルCOEプログラムに申請したプログラムをベースとしている場合は、どのような点について改善・充実等が図られているのか簡潔に記入してください。）

分野別整理番号		プログラム名称	
拠点リーダー名		専　攻　等　名	

（機関名：　　拠点のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名称：　　）

様式２－５

１０．初年度及び次年度の各経費の明細

（記載例：研究打ち合わせ旅費　〇〇人×@〇〇円　〇〇千円
資料整理謝金　〇人×〇日×@〇〇円　〇〇千円）

申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
グローバルＣＯＥプログラムの目的である拠点形成の実現に使途は限定されます。
※拠点大学で使用する経費と連携先で使用する経費を区分して記載してください。

金額（千円）

＜平成２０年度計画＞　経費区分	金額（千円）	備考
【設備備品費】		
【旅費】		
【人件費】		
【事業推進費等】		
（平成２０年度）　合計		

＜平成２１年度計画＞　経費区分	金額（千円）	備考
【設備備品費】		
【旅費】		
【人件費】		
【事業推進費等】		
（平成２１年度）　合計		

（機関名：　　拠点のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名称：　　）

平成２０年度　　様式３－１

グローバルＣＯＥプログラム　教育研究活動調書

［１］教育研究活動に係るデータ（共通）

（※印を付した項目については事業推進担当者全員分に係るデータを、★印を付した項目については、拠点となる大学の専攻等(複数で構成される場合は、その全ての専攻等)に係るデータを、それぞれ集計の上、様式の各項目について記入してください。）

１．人材育成面の状況（拠点となる専攻等（複数可）が調査対象となります。）

（１）★博士課程学生（外国人留学生を含む）の在籍及び学位授与状況

（区分制の場合は後期３年間を、一貫制の場合は後期３年間を、また、医、歯、獣医学についてはこれらに相当する４年間について回答してください。）

注：右側の（ ）は内数で外国人留学生数を記入してください。

区　　分	平成１６年度	平成１７年度	平成１８年度	（専攻等(複数可)として集計した専攻名を列記してください。）
博士課程入学定員	人	人	人	
博士課程入学者数（各年度11.1現在）	人（　人）	人（　人）	人（　人）	
（外国人留学生数の割合）	%	%	%	
うち、他大学出身者数	人（　人）	人（　人）	人（　人）	（備考）
（外国人留学生数の割合）	%	%	%	
博士課程在籍者数（各年度11.1現在）	人（　人）	人（　人）	人（　人）	
課程博士授与数（各年度3.31現在）	人（　人）	人（　人）	人（　人）	
他大学からの研究指導委託生の受入数（各年度3.31までの受入数）	人（　人）	人（　人）	人（　人）	

（２）★修了後の進路の状況（注：右側の（　）は内数で外国人留学生数を記入してください。）

区　　分	平成１６年度	平成１７年度	平成１８年度	備　考
大学の教員（助手・講師等）	人（　人）	人（　人）	人（　人）	
公的な研究機関	人（　人）	人（　人）	人（　人）	
企業（研究開発部門）	人（　人）	人（　人）	人（　人）	
企業（その他の職種）	人（　人）	人（　人）	人（　人）	
ポスドク（同一大学）	人（　人）	人（　人）	人（　人）	
ポスドク（他大学等）	人（　人）	人（　人）	人（　人）	
その他	人（　人）	人（　人）	人（　人）	

（２）の主な就職先等

（３）★ポスドクの採用の状況（注：右側の（　）は内数で外国人数を記入してください。）

区　　分	平成１６年度	平成１７年度	平成１８年度
ポスドク（同一大学）	人（　人）	人（　人）	人（　人）
ポスドク（他機関出身者）	人（　人）	人（　人）	人（　人）

（４）★博士課程学生への経済的支援の状況

（注：右側の（　）は内数で外国人留学生数を記入してください。）

区　　分	平成１６年度	平成１７年度	平成１８年度
ＴＡとして採用されている者	人（　人）	人（　人）	人（　人）
ＲＡとして採用されている者	人（　人）	人（　人）	人（　人）
日本学術振興会の特別研究員に採用されている者	人（　人）	人（　人）	人（　人）

（機関名：　　拠点のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名称：　　）

（５）★博士課程学生の学会発表、学術雑誌等への論文等発表数

注１：平成１７年～平成１９年の１月～１２月の期間について作成してください。
注２：学会発表数の（　）内には国外で行われたものを記入してください。
注３：論文発表数は、学生が学術雑誌等（紀要、講演論文集等も含む）に発表したもの（印刷済及び採録決定済のものに限り査読中・投稿中のものは除く。）ものとし、論文等発表数の（　）内にはレフェリー付学術雑誌に発表した論文数を記入してください。

区　　分	平成１７年	平成１８年	平成１９年
学会発表数	回（　　回）	回（　　回）	回（　　回）
博士課程在籍者数に対する割合	（　　）	（　　）	（　　）
論文発表数	件（　　件）	件（　　件）	件（　　件）
博士課程在籍者数に対する割合	（　　）	（　　）	（　　）

主な発表論文

（平成１７年～平成１９年の１月～１２月の期間に、専攻に所属する学生の主な発表論文（論文名、著者名、学会誌名、巻（号）、最初と最後の頁、発表年（西暦）の各項目を必ず記入）を記入してください。共同、共著の場合は全員を掲載順に記入し、当該学生に下線を付してください。ただし、印刷済及び採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除きます。）

研究費の獲得状況及び学会賞等各賞の受賞状況等

（平成１７年～平成１９年の１月～１２月の期間に、専攻に所属する学生が獲得した主な研究費（名称、期間、金額等）の獲得状況及び学会賞等（受賞名、受賞年等）の受賞状況について記入してください。また、当該専攻に所属する学生が在籍中に取得した特許や記載された新聞記事など、大学で特筆すべき研究成果と判断されるものがあれば、本欄に記入することが可能です。）

２．研究活動面の状況

（１）※レフェリー付き学術雑誌等への研究論文発表状況又は専門書等の発行状況

注：平成１７年～平成１９年の１月～１２月の期間について作成してください。

	平成１７年	平成１８年	平成１９年
レフェリー付き学術雑誌等論文発表数	（　　件）	（　　件）	（　　件）
専門書等発行数	（　　件）	（　　件）	（　　件）
〈主な学術雑誌、専門書等名〉			

（２）※学会賞等各賞の受賞状況等

注：平成１７年～平成１９年の１月～１２月の期間について作成してください。

区　　分	受賞等数	代表的な受賞名及び主な外国の科学アカデミー名
国際的な大賞	件	
国際的学術賞	件	
日本学士院賞	件	
国内学会賞	件	
財団等賞	件	
その他の表彰(公的褒章含む)	件	
外国の科学アカデミー会員状況	件	

（機関名：　　拠点のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名称：　　）

（３）※国際学会での発表（基調講演・招待講演等）状況
注：平成１７年～平成１９年の１月～１２月の期間について作成してください。

区　　分	平成１７年	平成１８年	平成１９年
基調･招待講演	回	回	回
口頭発表	回	回	回
ポスター発表	回	回	回

代表的な国際学会名及び開催年月日（記入は１０点以内とし基調講演・招待講演等を特記してください。）

（４）★他大学等との共同研究の実施状況
注１：右側の（　）は内数で国外の機関との共同研究の実施件数を示す。
注２：平成１６年度～平成１８年度の４月～３月の期間について作成してください。

区　　分	平成１６年度	平成１７年度	平成１８年度
大学・研究機関	件（　　件）	件（　　件）	件（　　件）
企業等	件（　　件）	件（　　件）	件（　　件）

（機関名：　　拠点のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名称：　　）

（５）★※この拠点形成計画に関連して従来受けた補助金等

平成１９年度に事業推進担当者又は拠点となる大学が受けた補助金等（科学研究費補助金、その他の省庁・研究助成法人・民間企業等からの教育研究費を含む。）のうち主なものを記入してください。

事業の名称	期　間	プログラム名等	交付を受けた者（研究者名又は組織名）	金額（千円）

３．教員の流動性

（１）★教員の他大学等の経験状況

	教　授	准　教　授	講　師	助　教
在籍者数（A）	人	人	人	人
Aのうち他大学等を経験したことのある者（B）	人	人	人	人
Ｂ／Ａ×100	%	%	%	%

（２）★任期制、公募制の導入状況（いずれかにそれぞれ○をつける）

・任期制について⇒　・導入している。　・導入していない。

・公募制について⇒　・導入している。　・導入していない。

（３）★外国人教員の在籍状況

注１：平成１６年度～平成１８年度の４月～３月の期間について作成してください。

注２：右側の（ ）は専攻等に所属する全教員の在籍者数を記入してください。

区　分	平成１６年度	平成１７年度	平成１８年度
常勤の教員数	人（　人）	人（　人）	人（　人）
（外国人教員数の割合）	%	%	%
非常勤の教員数	人（　人）	人（　人）	人（　人）
（外国人教員数の割合）	%	%	%

（機関名：　　拠点のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名称：　　）

様式３－２

［２］教育研究活動評価対象者一覧

事業推進担当者総数　［　　］人（内訳：教授　　人・准教授　　人・講師　　人・助教　　人） ＊研究員等が含まれる場合は適宜内訳に加えてください。			
教育研究活動評価対象者			
（ふりがな〈ローマ字〉） 氏　　名	所属（部局・専攻等）	学　位	現 在 の 専 門
（拠点リーダー） ①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			

（機関名：　　拠点のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名称：　　）

［３］教育研究評価対象者調書（対象者毎に１枚）	
事業推進担当者 （拠点リーダーを含む）	（所属部局（専攻等）・職名） ふりがな〈ローマ字〉 （　氏　　名　） （学位及び現在の専門）
これまでの教育研究の成果、アピールすべき点	
教育・研究歴	

<<表面>>

様式３－３

研究業績：主な発表論文名・著書名（論文名，著書名，学会誌名，巻，号，最初と最後の頁，発表年（西暦）の各項目を必ず記載すること。本人に下線を引くこと。）

参　考（受賞名及び受賞年度、国際会議発表状況（基調講演、招待講演等を特記）等の積極的に提供すべき情報を記載する。）

エフォート及び他事業（経費）との関連（拠点リーダーのみ記載してください。）

制度名称	役割	申請・採択状況	期間・規模（円）	ｴﾌｫｰﾄ(%)
グローバルＣＯＥプログラム	拠点リーダー	申請中		

<<裏面>>

（機関名：　　拠点のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名称：　　）

［４］教育研究拠点の特色

拠点の特色を示すために、その他効果的と思われる特記事項がある場合は記入してください。

様式３－５

［５］関連分野研究者

①　当該研究分野に精通し、かつ、当該研究内容を的確に理解・評価できると思われる日本人研究者を５~~３~~名以上記入してください。
※記載された研究者に当該拠点形成計画に係わらずレフェリーをお願いすることがあります。

氏　　名	所属機関・部局・職	現在の専門	~~電話番号(勤務先等)・メールアドレス~~

②　当該研究分野に精通し、かつ、当該研究内容を的確に理解・評価できると思われる外国人研究者（英語を理解できる方に限ります。）を５~~３~~名以上記入してください。
※記載された研究者に当該拠点形成計画に係わらずレフェリーをお願いすることがあります。

氏　　名	所属機関・部局・職	現在の専門	~~電話番号(勤務先等)・メールアドレス~~

（機関名：　　拠点のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名称：　　）